

事業報告

I 事業の概況

本公益財団法人は、岡山県における理工学に関する研究を振興するとともに、先端技術の向上を目指した大学と産業界等との連携を図り、もって学術及び技術開発の進展に寄与することを目的として、以下の事業を実施した。

1 事業の実施状況

(1) 学術研究助成事業

公益目的事業1（岡山県内における理工学に関する学術研究の助成事業）に掲げる事業は、次により行った。

① 事業の目的

岡山県内における理工学に関する学術研究を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

② 事業の概要

イ) 学術研究助成の対象

理工学の学術分野の基礎及び応用研究であって、研究者が1人で行うもの、または2人以上の研究者が同一の研究課題について共同で行うもの。

ロ) 研究助成の種目と助成額

A) 内山勇三科学技術賞

内山工業(株)元会長故内山勇三氏の寄附金により設けたもので、特色ある先導的な研究を対象とする。

3件	1件	200万円	600万円
----	----	-------	-------

B) 岡山工学振興会科学技術賞

一般研究 特色ある研究を格段に発展させるための研究を対象とする。

6件	1件	70万円	420万円
----	----	------	-------

萌芽研究 研究者が主体的に行う研究で、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究を対象とする。

4件	1件	40万円	160万円
----	----	------	-------

ハ) 募集方法

岡山県内の大学理工系学部及び高専、研究機関に3月初旬公募要項を配布（財団ニュース125号及び財団ホームページに掲載）4月7日に締切った。

ニ) 選考方法

研究分野による専門委員の選考と併せ選考委員会において選考した。

ホ) 研究助成応募状況

種 別		応募数	採択数	採択率	備考
内山勇三科学技術賞	特別研究	3 件	3 件	100 %	
	岡山工学振興会科学技術賞	一般研究	23	6	
萌芽研究		7	4	57	
計		33	13	39	

③ 研究助成採択課題と研究代表者

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額
内山勇三 科学技術賞 特別研究	岡山大学学術研究院 医歯薬学域（薬） 教授	須藤 雄気	光をくすりへ！？：光受容タンパク質「ロドプシン」の多様性の探求と可能性の追求	万円 200
	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学 学域（工） 教授	西 竜志	産業用ロボットの導入容易化のためのデータ駆動最適化技法の研究	200
	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学 学域（工） 准教授	黒星 学	シクロトリホスファゼン誘導体の選択的な合成法の開発	200
岡山工学 振興会 科学技術賞 一般研究	岡山大学学術研究院 医歯薬学域（薬） 教授	好光 健彦	可視光・太陽光レドックス触媒による分子変換プロセスの開発	70
	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学 学域（理） 助教	俣野 和明	トポロジカル超伝導体の物性解明：結晶の歪みと超伝導対称性	70
	岡山大学 異分野基礎科学研究所 准教授	墨 智成	新型コロナ後遺症の原因となる宿主内持続感染の予防法並びに治療法の細胞免疫学的研究	70
	岡山大学 異分野基礎科学研究所 准教授	森 裕樹	有機薄膜太陽電池の高効率化に向けたp型半導体高分子の開発	70
	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学 学域（理） 教授	金田 隆	細胞外ナノ小胞の識別と放出機構解明の研究	70

	岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合 科学学域 准教授	吉岡 朋彦	キトサンナノファイバーの交流 電気泳動堆積を利用した歯列矯 正ワイヤーの表面処理法の開発	70
岡山工学 振興会 科学技術賞 萌芽研究	岡山大学 異分野基礎科学研究所 研究助教（特任）	柏原美勇斗	9-フルオレノールポリマーを用 いた六フッ化硫黄の高効率分解 法の開発	40
	岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合 科学学域 助教	片岡 卓也	骨芽細胞の迅速な活性化を実現 する有機/無機複合粒子の開発	40
	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学 学域（工） 助教	山崎 賢	ペンタフルオロスルファニル基 を有した生理活性物質合成法の 開発	40
	岡山大学 異分野融合先端研究コア 助教（特任）	FERRE PUJOL, Pilar	2-D ナノ材料の活性酸素補捉能を 活用した対外成熟卵子の品質改 善	40

(2) 産学官連携事業の助成

公益目的事業2（岡山県内における理工学に関する産学官連携研究会の助成事業）に掲げる事業は、次により行った。

① 事業の目的

岡山県内の大学、研究機関、企業、行政等で構成される理工学に関する研究会等に対し、その経費の一部を補助し、研究活動及び産学官連携の促進を支援することを目的とする。

② 助成対象の研究会等

財団が設置を認めた産学官連携研究会等

③ 産学官連携研究会等の助成実績	2 件	15 万円
岡山新材料技術融合フォーラム		7 万円
岡山振動音響技術研究会		8 万円

(3) 学術交流推進助成事業

公益目的事業3（岡山県内における理工学に関する学術交流推進事業の助成）に掲げる事業は、次により行った。

① 事業の目的

岡山県内における理工学に関する学術研究または学術集会を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

② 事業の概要

学術交流推進助成の対象

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額
学術交流推進助成事業	岡山大学 教授	藤井 正浩	粘弾性材料の摩擦低減に関する研究	万円 50
	岡山大学 研究教授	仁科 勇太	機能性炭素マテリアルの研究開発	50
	岡山大学 名誉教授	尾坂 明義	新規歯科用セラミックスの開発	70
	川崎医科大学 特任教授	加来 浩平	血管内皮細胞生理活性因子による 内臓肥満抑制の分子基盤解明と新 規治療法の探索	50
	川崎医科大学 教授	原 浩貴	鼻呼吸障害が睡眠中の呼吸機能に 及ぼす影響に関する研究	50
	岡山大学 教授	藤井 達生	磁性酸化鉄材料の研究開発	50
	岡山大学 教授	藤井 達生	磁性酸化鉄材料の研究開発	30
	計			7 件

(4) 学術的研究成果並びに先端学術情報等の普及の促進

定款第4条(3)(成果の普及)(4)(情報の収集及び提供)に掲げる事業は、次により行った。

① 学術的研究成果及び学術情報の普及

岡山大学工学部研究年報、理学部研究業績一覧、県内大学の研究年報等情報並びに(公財)岡山工学振興会ニュースを企業・研究機関に提供。

ホームページ(URL: <http://ofst.or.jp/>)に掲載。

② ANNUAL REPORT OF THE OKAYAMA FOUNDATION FOR SCIENCE AND TECHNOLOGY

(公財)岡山工学振興会年報の発行と配布。

学術研究助成者の研究成果報告等の報告に基づき、ANNUAL REPORTを毎年発行し、県内の大学、研究機関及び企業に配布した。また、令和3年度から、表紙を刷新、ロゴマークを入れ、A4版にするとともに、ページ数を減らし、読みやすくした。

(5) 地域企業等との連携・交流事業

定款第4条(5)(6)(連携・交流)に掲げる事業は、次により行った。

① 岡山新材料技術融合フォーラムの開催

② 岡山振動音響技術研究会の開催

(6) 寄附金に関する事項

寄附の目的	寄 附 者	申込金額	領収金額	備考
学術研究助成	内山工業（株）赤坂研究所	50	50	
	平島 隆洋	8,392.3	8,392.3	
	野上 潤造	10	10	
	(株)ダイセル	50	50	
	(株)ジーシー研究所	70	70	
	(医)伯鳳会 赤穂中央病院	50	50	
	(医)伯鳳会 赤穂中央病院	50	50	
	戸田工業（株）	50	50	
	DOWA エフテック(株)	30	30	
	(公財)岡山工学振興会	13,865.3	13,865.3	
	合 計	382,257.6	382,257.6	

2 重要な契約に関する事項

「該当なし」

3 正味財産増減の状況及び財産の状況

(単位：万円)

	令和2年 3月期	令和3年 3月期	令和4年 3月期	令和5年 3月期
経常収益合計	2,392	3,164	2,617	4,986
経常費用合計	2,894	3,604	2,838	2,394
当期正味財産増減額	△4,117	1,409	△508	208
資産合計	45,766	47,223	46,687	50,999
負債合計	574	623	672	4,776
正味財産	45,192	46,600	46,015	46,223

II 法人の課題

公益財団法人として法律並びに定款の定めにより、より充実・安定した事業を継続するための体制の強化。

広報の充実と支援基盤の強化。

III 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

監事2名を置いて、理事の職務執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成することとしている。

IV 株式保有している場合の概要

内山工業株式会社株券を研究助成基金として寄附を受け、その運用益を公益事業の財源として使用している。

- V 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実
「該当なし」

事業報告の附属明細書

1 定款に定める事業内容について補足すべき重要な事項

「該当なし」

2 事業の状況について補足すべき重要な事項

(1) 岡山県内における理工学に関する学術研究の助成事業

理工学分野の基礎及び応用研究であって、研究者が単独又は複数の研究者が同一の研究課題について共同で行うものを助成対象とする。また、令和2年度申請分から、奨励研究を萌芽研究に名称を変更し、年齢制限をなくし、応募種目の偏りをなくすとともに若手研究者の応募の向上を図った。

(2) 岡山県内における理工学に関する産学官連携研究会の助成事業

理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者又は研究グループで岡山県下の大学、高専、公的研究機関、行政及び企業に所属する者で構成された研究会を助成対象とする。

(3) 岡山県内における理工学に関する学術交流推進事業の助成

岡山県内の研究機関等に所属する研究者等で、理工系の基礎及び応用研究又はこれらに関わる学術集会等を助成対象とする。

3 許認可について補足すべき事項

「該当なし」

4 事業の実施状況についての補足すべき事項

公益目的事業剰余金の解消計画として、学術研究助成事業の計画拡大を図ると共に、次年度以降の公益目的事業推進のための特定資産を購入した。

5 役員会等に関する補足すべき事項

「該当なし」

6 正味財産増減の状況並びに財産の増減の推移についての補足すべき事項

「該当なし」